

第 70 回奈良県公民館大会
第 34 回奈良県社会教育研究大会合同大会

【基調講演】

演題：「これからの社会教育～地域への期待とその対応・可能性～」

講師：天理大学副学長 人間学部 教授 岡田 龍樹 先生

○地域社会の重要性と社会教育の役割

今後、地域社会においては、住民全体で課題や変化に対応することが求められる。社会教育には、地域の持続的発展を支える取り組みに資することが期待されている。

○地域の課題と社会教育の役割

住民＝サービスの享受者ではなく、自らが担い手として運営に主体的に関わっていくことが重要となる。私的・公的両面で生起する様々な課題に対処するため、学びの力を生かすことが不可欠となる。

○社会教育施設（公民館）のあり方

今後は、住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習を推進する役割や、学習の成果を地域課題の解決のための実際の活動につなげていくための役割を強化することが求められる。また、公民館になじみが薄い若年層をいかに引き付けていくかも重要である。地域の実態に応じた学習と活動を結びつけ、地域づくりにつなげる新しい地域の拠点施設を目指していくことが望まれる。

【第 3 分科会】

演題：「高齢者の生きがいがいづくりと交流の場としての公民館」

講師：御杖村教育委員会 主任 古谷 嘉章 氏

人がつながり地域が豊かになる活動をどうすすめていくか

創造・育成・環境の「みつつの杖」でつくる縁結びのふるさとをテーマに、地域の個性を引き出し合いながら、さまざまな縁を結び、新たな村づくりを進めている。

○公民館の取り組み

教育委員会がある御杖村山村開発センターを中央公民館とし、4つの大字の公

民館が分館として、それぞれの公民館で事業を展開している。

(1) 公民館が実施している事業

- ・英会話教室
- ・公民館まつり（各種園芸の発表会など）
- ・各種教室の開催（手芸、園芸、陶芸、カラオケなど）
- ・ふれあいイベント（カラオケ、軽スポーツ、川遊びなど）

(2) 土屋原案山子（つちやはらかかし）まつり

4つの分館の一つである「土屋原公民館」が16年前に、地域おこしと区民のふれあいの輪を広げることを目的に「五穀豊穡への思いを込めて作った案山子」の展示が始まった。

(3) 地域学校パートナーシップ事業との連携

地域と学校が協働して未来を担う子どもたちの成長を支える取り組みとして「地域学校パートナーシップ事業」を実施している。

○成果

【案山子まつり】

案山子を通して生きがいがづくりが生まれ、地域の一体感や世代、都市部との交流に結びついている。

【地域学校パートナーシップ事業】

普段ふれあうことが少ないお年寄りとお年寄りとお年寄りとお年寄りと小・中学生が交流することで、小・中学生は自分を応援してくれているという実感と、貴重な学習・体験を得ることができている。

○これから

公民館事業は、御杖村のような高齢化率が高い地域において、地域コミュニティとして重要な役割を担っている。また、外出することが億劫になりがちな高齢者の生きがいがづくりの場としても重要な役割を担っている。